

# へびくんのおさんぽ

「へびくんのおさんぽ」  
作・絵/いとうひろし(鈴木出版)より



  
むすび座

上演時期  
2018年  
12月  
～2019年  
3月

脚色/  
西浦万里子  
五十里洋子  
演出/  
いわたひろえ  
美術/  
柿内尚生  
音楽/  
坂野嘉彦

出演/  
藤中智光  
瀧田将士  
渡辺智美



## アンケートより

へびやねずみなど、子どもたちに親しみのある動物がたくさんでできたことで、楽しんで観ることができたと思います。へびの背中を通る時に動物によってへびの動きが変わることに、子どもたちが気付くことができ、自分の中で想像しながら、面白がっていました。

役に立った!という嬉しい気持ちは、きっと踊りたくなるほどのエネルギーを引き出すのでしょう。

雨上がりに、おさんぽに行こうと外に出たへびくんとねずみくんの前に、水たまりがありました。「渡れない。こまったなあ!」と言っているねずみくんを見て、へびくんは「こんなのへっちゃらさっ!」と、水たまりに自分のからだで橋をかけました。橋になったへびくん、どんな活躍をするのでしょうか?

# しよじよ寺 たぬきばやし

脚本/和田周子  
演出/永草友士  
美術/工房太郎  
音楽/大野栄潤

このさびれた古寺は、誰がつけたか「おばけ寺」。寺に居ついた子だぬきたちが、おばけに化けて追い返す。

へんな和尚がやってきた。おばけ退治にやってきて、おばけに脅され逃げまどう。それでもやさしい、へんな和尚。

真ん丸おっ月さん踊りだし、たぬきばやしと笑い声、しよじよ寺の庭は包まれる。

無邪気な和尚と、子だぬきたちの心のふれあい。子ども達は、仲良くすることの楽しさ・大切さを感じることでしょ。

## アンケートより

かわいいたぬきには親しみを覚え、変身したおばけたちは“ちょっと怖いけれど…でも見たい!”といった表情の子ども達でした。太鼓のリズムがこちよく、観劇後もリズムをとってロずさむ子がいました。

